



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 ～役員会・総会～開催報告

新しい生活様式の中、企業連携のための事業計画が固まる

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議は5月22日(金)に役員会、6月4日(木)には総会(書面決議)が開催されました。

昨今の新型コロナウイルス感染症対策の観点から、役員会はWeb会議で開催、総会は、書面決議により令和元年度事業報告及び収支決算、令和2年度事業計画及び収支予算について、原案のとおり承認されました。

また、令和2年度役員について、役員会で決定、書面総会に報告しました。今年度の役員は右記のとおりです。

今回の役員会は、当形成会議初めてのWeb会議であり、役員の方々、事務局も手探りの状況でしたが、滞りなく役員会を開催することが出来ました。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、会員の皆様に資する事業を推進してまいります。

なお、例年、総会終了後に開催する企業製品・成果等発表会につきましては、開催日を延期し、社会情勢を見ながら開催いたします。



令和2年度役員 (敬省略)

最高顧問	高木茂保	エスケー電子工業(株) 取締役相談役
会長	大槻 努	作田電機(株) 代表取締役社長
副会長	水上哲夫	(有)ぱすわーど 代表取締役
副会長	桑原勝幸	(株)リゾーム 代表取締役社長
委員	高橋晃一	(株)アーバン設計 代表取締役
委員	樽川久夫	アルファ電子(株) 代表取締役
委員	石橋克郎	石橋ハマプラス(株) 代表取締役
委員	高島伸幸	(有)エスク 代表取締役
委員	神田雅彦	神田産業(株) 代表取締役
委員	吉田尚正	(株)吉城光科学 代表取締役社長
委員	森尾和衛	日本全薬工業(株) 専務取締役
委員	益子邦雄	林精器製造(株) 業務執行取締役経営本部長
監査	遠藤正成	(株)北斗型枠製作所 代表取締役
監査	長谷川潔	陸奥テックコンサルタント(株) 専務取締役兼調査本部長

令和元年度決算を承認

6月12日(金)に令和2年度第1回理事会を開催し、令和元年度事業報告と決算が承認されました。さらに、6月30日(火)に定時評議員会を開催し、令和元年度事業、同決算と令和2年度事業計画、収支予算が承認、了承されました。

会議では、ものづくりインキュベーションセンターの一層の活用や産学官連携の積極的推進、今後の機構運営などについて議論されました。

理事会の様子



郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー会議開催報告

令和2年6月17日(水) 令和2年度 第1回ボードメンバー会議がWeb会議により出席者14名で開催されました。主催者挨拶、メンバーの自己紹介に引き続き議事に移り、令和2年度事業計画について事務局より説明後、意見交換を行いました。今年度上期については行事、セミナー開催についてはWebでの開催を予定しています。また例年夏休みに開催してきました子供向けの教室について今年度は実施を見送り、代わりに来年春休みにロボット制作教室を計画しています。ただし、これについてもコロナの影響を心配する声もあり、その時の状況により延期も考慮することになりました。第2回ボードメンバー会議もWebでの開催となりました。



今月のコラム (技術コーディネーター 箭内一男)



DXを本格的に展開するため、既存システムの刷新が必要になる。しかしながら、既存システムの問題点を把握し、いかに克服していくか、経営層が描き切れないおそれや既存システム刷新に際し、各関係者が果たすべき役割を担えていないおそれ等様々な課題がある。これら課題に対して下記のような対応策がある。①経営者自らが、ITシステムの現状と問題点を把握し、適切にガバナンスできるよう「見える化」指標の策定、中立的で簡易な診断スキームの構築 ②既存システムの刷新や新たなデジタル技術を活用するに当たっての「体制のあり方」「実行プロセス」等を提示 ③刷新後のシステムが実現すべきゴールイメージ(変化に迅速に追従できるシステムに)の共有 ④システム再構築やアジャイル開発に適した契約ガイドラインの見直し ⑤既存システムの維持・保守業務から解放し、DX分野に人材シフト。

「2025年の崖」、「DX実現シナリオ」をユーザ企業・ベンダー企業等産業界全体で共有し、政府における環境整備を含め、諸課題に対応しつつ、DXシナリオの実現を目指すことにより、2030年に【Connected Industriesの深化】を迎えることが可能になる。

